

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サービス付高齢者向け住宅	階数	地上3F
建設地	大阪府八尾市都塚南	構造	S造
用途地域	1種住居、準防火地域	平均居住人員	51人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年10月 予定	評価の実施日	2020年2月19日
敷地面積	1,933㎡	作成者	株式会社PPI計画・設計研究所
建築面積	840㎡	確認日	2020年2月19日
延床面積	2,099㎡	確認者	株式会社PPI計画・設計研究所 代表取締役 内田善久



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 99% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 99% (138 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 99% (184 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.2

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	室内環境や空気環境の向上を図ることで、居住者が快適に過ごせるよう配慮した。また、植栽を設け、良好な緑地環境にも配慮している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	F☆☆☆☆の内装建材を使用し、室内空気環境に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 植栽を設けることで良好な景観を形成しており、まちなみ・景観に配慮している。
LR1 エネルギー	住戸内、共用部ともにLEDの照明を採用し、省エネルギー化を図っている。	LR3 敷地外環境 屋外照明に関して広告物照明は設置せず、適切な範囲で計画して外に漏れる光に配慮している。
Q2 サービス性能	設備は耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めている。	
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっており、部材の再利用可能性の向上への取り組みに努めている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0165

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)サービス付高齢者向け住宅あぶり八尾都塚 新築工事							
	建設地	大阪府八尾市都塚南							
	用途/区分	集合住宅							
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+					
①	CO2削減			3					
②	みどり・ヒート アイランド対策			3					
③	建物の断熱性			4					
④	エネルギー削減			3					
⑤	自然エネルギー直接利用			○					
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

	エネルギー消費量の報告	対象外
--	-------------	-----

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.0	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	4.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.0	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		